

一般社団法人 全麵協

2023.3.31

ニュースフラッシュ no.27



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

令和4年度 第6回理事会開催報告

令和5年3月20日(月)午後1時から、東京都立産業貿易センター浜松町館4階第1会議室で「第6回理事会」が開催されたので、その概要をお知らせします。

1 報告事項

(1) 事務局 ①入退会報告

(2) 事業経過報告

ア 30周年記念式典及び第1回五段位全国大会

- ・30周年記念式典の参加人数(3/18現在) 440名(北海道支部97名、東日本支部70名、首都圏支部59名、中日本支部113名、西日本支部96名、他5名)
- ・第1回五段位全国大会の参加人数(3/18現在) 68名

イ 六段位選考会:3月13日(麵業会館) 14名認定

(3) 段位認定会等報告

1~3月の各支部認定会等について支部長から事業説明

<全員了承>

2 議題

(1) 令和5年度定時社員総会について

- ・日時:令和5年6月17日(土)午後2時
- ・場所:東京都千代田区 如水会館
- ・総会議案

ア 令和4年度事業報告(案)について各部長から資料に沿って説明

イ 令和5年度事業計画(案)について各部長から資料に沿って説明

ウ 令和5年度収支予算案(決算報告を含む)について経理部長から説明

○主な質疑

- ・各支部の段位認定会でのコロナ対応はどのようになるのか。
→コロナ対応は各支部で判断してほしい。
- ・五段位全国大会の特別研修会の日程はいつか。
→特別研修会は実施するが、日時は決まっていない。そば大学に参加した方と不公平がないような研修会にしたい。

- ・富山のそば大学での受付を支部別にするので各支部から2名受付をお願いしたい。
- ・五段位受験者が100名を超えているので、2日間では無理ではないか。
→意見発表を3日間やり、技能審査は1回の台数を増やして対応したい。
- ・大きな事業は、1年前から計画したい。令和6年度はそば大学は西日本支部、五段位認定会は首都圏支部を考えている。
また、今後そば大学は5月第4週の土・日五段位認定会は10月下旬に固定化したい。
- (2) 令和5年度の5支部事業計画案…各支部長から説明
- (3) その他
 - ・30周年記念誌は3校まで終わり、順調に進んでいる。
 - ・東京など首都圏は人口に比べると全麵協の会員が少ないと感じる。首都圏支部にさらなる努力をお願いしたい。

<全員了承>



六段位(蕎士)認定選考会「報告」

3月13日に全麵協「第3回そば道六段位認定選考会」が、麵業会館で開催されました。

14名の受験者が面接審査と実技審査に臨み、見事全員が合格して六段位に認定され「蕎士」の称号を授与されました。

以下に六段位認定者を記します。(本部)

六 段 位 認 定 者

支部名	名 前	所 属 会
北海道	藤田 宜且	いしかり手打ちそば同好会
北海道	小林 安晴	北檜山手打ちそば愛好会
北海道	白内 拓郎	おしゃまんべそば打ちサークル
北海道	後藤 篤雄	いしかり手打ちそば同好会
東日本	柏倉 寛充	宮城手打ちそば研究会
東日本	芳田 時夫	栃木のうまい蕎麦を食べる会
首都圏	掛札 久美子	いばらき蕎麦の会
首都圏	熱田 成治	匠磋そばの会
中日本	大塚 裕一	富山そば研究会
中日本	原 秀夫	NPO法人信州そばアカデミー
西日本	奥田 成子	熊野古道そばネット
西日本	篠原 美文	尾道そば道場
西日本	今川 隆	永沢寺そば打ち愛好会
	前田 幸彦	特別個人会員



全麵協に対する理解を深める研修会 開催報告

六段位認定選考会に先立って、3月12日に「全麵協に対する理解を深める研修会」として、六段位受験予定者12名並びに新特任審査員7名に参集いただきました。

会場は、本年11月8日に開催予定の「第1回そば道五段位全国大会」と同じ、東京都立産業貿易センター浜松町館で実施しました。

開催の主旨は、そば打ちの技術のみならず、文化的・社会的意義の理解や、全麵協組織に対する認識を深めていただき、これからの全麵協をけん引する存在になっていただくためです。

講師には松蔭大学教授の古賀学先生をお招きし、「全麵協の活動が果たしてきた役割」と題してご講演いただきました。

また、後半は、「全麵協のこれからを考える」というテーマで、中谷理事長から問題提起をいただき、参加者全員で意見交換を行いました。

このような研修会は初の試みでありましたが、意見交換の際にはファシリテーター(会議の進行と活性化の推進役)として伊藤悠氏(一般社団法人Reboot代表)をお願いし、参加者の意見を積極的に引き出すことに務めました。

日頃はなかなか会員の意見を直接聞くことはできない状況ですが、このような研修会は本部にとっても会員にとっても、大変意義ある企画だったと総括しています。(赤羽専務理事)



西日本支部 沖縄認定会を開催

「第3回沖縄認定会」の開催報告

西日本支部では、2月26日に沖縄県で3回目のそば道段位認定会を開催しました。

今後の発展及び取り組み方法の支援も兼ねて、本部から山本副理事長・赤羽専務理事に会場へいただき、併せて審査員としてご指導をいただきました。



当日は、NHKなどの報道関係者が見守る中、厳粛に認定会がスタートしました。最初は、受験者の皆さん緊張されていましたが、工程が進むにつれて日頃の練習の成果が発揮されたようです。

今回の受験者の中には、船で50分もかかる離島から練習に通っていた方もあり、そば打ちに対する熱い思いが感じられました。また受験者の内訳は、初段位6名、二段位7名で、審査終了後、山本審査委員長から「全員合格」の発表があると皆さん大歓声で喜びを表していました。その後、合格者全員に認定証が手渡され、中には涙ぐんでいる方もおられました。

今回の認定者を含め沖縄県では、22名の認定者が誕生しました。認定会終了後は、審査で打たれたそばを、地域の人々約40名に振る舞われ大盛況でした。正に、そば打ちが地域貢献につながった瞬間だと感じました。

沖縄では、そばと言えば「沖縄そば」のことであり、「日本そば」ではありません。「沖縄そば」は、小麦粉で仕上げる正にラーメンのようなそばです。従って、「日本そば」は、珍しくて「美味しい」と言っていただけのではないかと思います。



審査員の講評では、赤羽審査員から水回し、のし、麺棒の使い方等、的確なご指導が有り、皆さん熱心に聞き入っていました。このアドバイスは、今後の練習に大いに役立つものと思われました。

下の写真は、地域の方々に認定会で打ったそばを提供し、美味しそうに食べていただいているところです。



西日本支部では、このような段位認定会を四国地方、山陰地方でも開催できるよう取り組みを進めており、まずは令和5年度に四国地方での開催を予定しています。

また、全麵協を支える以下の取り組みにもチャレンジしています。

- ・会員拡大に向け、各自治体とタイアップした事業の実施
- ・公民館活動、JAとタイアップしたそば祭り、ソバ栽培の取組み
- ・そば打ちの技術及び審査員の技術のレベルアップ

(西日本支部長 篠原美文)

各支部で指導員三級任用講習会を開催

令和4年度 西日本支部指導員三級任用講習会の開催報告

1月29日（日）、前日からの大雪の為、三重県方面の一部の方が参加できない状況の中ではありますが姫路商工会議所で無事開催する事が出来ました。

参加者45名は、指導員三級の役割について熱心に講義を聞かれ、今後の本部活動・支部活動の重要性を認識されていました。

また、地域の方々に対しての技術の指導方法も十分に学ばれました。

最後に、修了書の交付を代表の方に手渡され、指導員三級としての重要な役割を認識しておられました。昨年度と今年度で約120名の方が受講しています。



(西日本支部指導普及部)

令和4年度 中日本支部指導員三級任用講習会の開催報告

3月18日（土）長野県塩尻市塩尻総合文化センターにおいて、指導員三級任用講習会を開催しました。

当日は、長野県独特の上雪（中南信地方を中心に降る雪）に見舞われる中、中日本支部管内から16名の参加者がありました。

受講された皆さんは、熱心に講義を受講し、指導員三級としての役割と責任を十分認識されました。今後、支部内での指導員としての役割を果たしてゆくことが期待されます。

中日本支部では、昨年度の受講者70名と併せ、86名の方が指導員三級任用講習会を受講しています。



(中日本支部指導普及部)

研修センターだより

新年早々からスタート

昨年12月にコロナ感染防止のため中止となっていた大学生を対象としたそば打ち教室を立正大学経済学部の学生19名に参加していただき開講しました。

全麵協においては重点方策として、「若年層に対するそばの理解・浸透度を高める活動の推進」を掲げており、2年ぶりの開催となりました。

体験は、3名から4名で一組とし、順番に水回し、延し、切りの全行程を体験してもらい、自分たちの打ったそばと講師が打ったそばを食べ比べていただきました。一人10分程度の体験作業であ

り学生がどの程度興味を持ってくれたかはわかりませんが、ほぼ全員が生麺250gをしっかりと食べてくれたのを見ると少しばかり期待が持てたところです。



(研修センター運営部長 萩原敏彦)

・ 会員異動のお知らせ

- 加入(令和5年4月1日)
北海道支部 旭川そばスクールまつもり
東日本支部 比角そば打ち同好会
首都圏支部 将門そば道場
西日本支部 加太麺友会
- 退会(令和5年3月31日)
首都圏支部 我孫子そばの会

全麵協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子

皆様からの情報提供をお待ちしています。